



六郷中だより

六郷中学校だより 第5号

令和 3年 6月22日

発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



一体感ある拍手響く 陸上競技大会！

梅雨の晴れ間となった6月21日。きびしい夏至の日の日差しの中、時折、吹き抜ける風に、涼を感じながら、峡南地区中学校総合体育大会陸上競技の部（以下、陸上競技大会）が小瀬ジットスタジアムにおいて開催されました。県内の新型コロナウイルスの感染者が増加していることから、今回の陸上競技大会は開催自体も心配されていましたが、感染症対策と熱中症対策を参加者全員が意識し、徹底する中で、峡南地区の9校の中学校の生徒たちが、自己ベストの更新をめざして、熱い戦いが繰り広げられました。

今年度の陸上競技大会は、感染症対策としてすべての参加者の健康チェック表の提出、開閉会式の中止、スタジアム全体に分散しての観客席の割り振り、声を出しての応援の禁止、などが周知されての実施となりました。以前は、自校の選手の健闘に向けて、声を出しての応援や時には校歌を大声で歌うなど、参加者全員で仲間同士の士気を鼓舞することもありましたが、今年度の大会ルールでは声を出しての応援は禁止事項となりました。

そこで行われたのが拍手による応援です。六郷中学校に割り振られた観客席は、メインスタンドではなくバックスタンドの観客席となりましたので、六郷中の選手が放送により紹介されたり、間近のバックストレートを走って通過したりする際には、どの学校にも負けない大きな拍手による応援が行われました。しかもメインストレートにあるゴール付近はとても遠く、六郷中のジャージの独特の「7」のラインを手がかりに、選手が上位に入賞した際には、さらに大きな拍手で仲間の選手をたたえ、六郷中としての一体感のある拍手が小瀬の陸上競技場に何度も響き渡る、暑い陸上競技大会の一日となりました。

以下に上位入賞の競技と生徒をご紹介します。

〔男子〕 1年 4×100mR	上田、三枝、原田、保坂・・・	1位
1年 1500m	三枝拳和・・・	1位
1年 走り幅跳び	保坂 治・・・	2位
1年 走り幅跳び	原田健志・・・	3位
1年 総合	・・・	3位
2年 3000m	小林永遠・・・	3位
〔女子〕 2年 100mH	雨宮ゆら・・・	3位



六郷中の朝の情景

六郷中の校舎は県道からも校庭をはさんで離れ、日向山の山ぎわに位置しています。そのためか毎朝私たちが迎えてくれるのが数々の鳥たちのさえずりです。高原の朝を思わせるような、何種類もの鳥のさえずりの響きに囲まれながら六郷中の一日が始まります。

さらに校舎に入ると迎えてくれるのが、静かに校舎内に響くクラシック音楽です。5月に行われた生徒総会において生徒会からの提案がなされ、一日が気持ちよくスタートできるようにと、放送委員会と連携した「The Morning Songs」という取組で、始業前の生徒が登校する時間帯に、毎朝、違う曲が校舎内に静かにかかります。まるで高原のホテルの朝のロビーの趣きです。